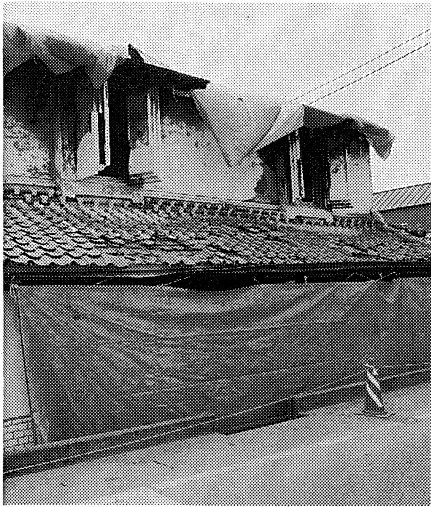


総合



モバイル茨城新聞配信中

(月額315円)



つくば市北条にある「宮本家住宅」が地震で大きな被害を受けた。店蔵の屋根瓦が半分以上落ちたほか、音

つくばの国登録有形文化財 宮本家住宅が損壊

つくば市北条にある「宮本家住宅」が地震で大きな被害を受けた。店蔵の屋根瓦が半分以上落ちたほか、音に開催予定だったコンサートは中止され、土蔵造りの町並みを地域活性化につなげようと活動してきた関係者は「宮本家住宅」が地震で大きな被害を受けた。店蔵の屋根瓦が半分以上落ちたほか、音が

職業訓練修了18人が巣立ち

筑西の有志、炊き出し

北茨城避難所 200人にカレーや豚汁



避難所の市民体育館で炊き出しする筑西市の有志＝北茨城市磯原町

北茨城市の被災者たち温かい食事を食べてもらいたいと、筑西市の有志5人が18日、トラック2台分の食料や生活必需品、風邪薬などを満載して届け、炊き出しを行った。避難所の北茨城市磯原町の市民体育館で、住民

は、宮崎勇真議と筑西市船玉の建設・運輸業、ダンブ屋洋の平井健治社長と社員、同市村田のタイレイ運輸(大吉貞順社長)の社員の5人。三菱ふそうトラック・バス北関東ふそう三和支店営業課からの援助も受け、カレー200人分、コメ1500人分、焼きそば300人分、乾パン200個などを4トと2トのトラックに満載。18日午前4時に筑西市を出発。約3時間半かけて北茨城市に到着した。「乾パンや甘いチョコレートなどのお菓子がすぐになくなった。

東日本大震災の被災地を支援しようと、笠間市等間の真浄寺が義援金を募る活動を始めた。同寺は犠牲者を弔う言葉を書いた塔婆を書き、お彼岸で墓参に訪

1日おにぎり1個という状態が続いていたらしい」と平井さん。現地は線路の上に車が乗り上げるなど、大震災の爪跡が生々しく残っていたという。「会社も今回の地震で大きな被害を受けた。これまでの災害は人ごとのように見えたが、何かしたいと思った」と、被災地に炊き出しをすることを決めたという。5人は「宮城県や原発の被害がクローズアップされるが、同じ県内でも厳しい避難生活を余儀なくされていることを知ってほしい」と話していた。(高橋正樹)

彼岸供養料で笠間・真浄寺 全額

